

WORLD THOROUGHBRED RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses
(covering the period 1st April to 7th October 2012)

World Thoroughbred Rankings Leading Horses click here for complete rankings			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	Frankel (GB)	140	GB
2	Cirrus Des Aigles (FR)	130	FR
3	Orfevre (JPN)	127	JPN
4	I'll Have Another (USA)	126	USA
4	Nathaniel (IRE)	126	GB
6	Black Caviar (AUS)	125	AUS
6	Bodemeister (USA)	125	USA
6	Excelebration (IRE)	125	IRE
6	So You Think (NZ)	125	IRE
10	Camelot (GB)	124	IRE
10	Danedream (GER)	124	GER
10	Farhh (GB)	124	GB
10	Snow Fairy (IRE)	124	GB
10	St Nicholas Abbey (IRE)	124	IRE
10	Wise Dan (USA)	124	USA

フランケル【140】がワールドサラブレッドランキングの最新版でトップの座を守り、今シーズン最終戦となる 10 月 20 日にアスコット競馬場で行われる英チャンピオン S(G1)に挑むこととなった。

この競走でフランケルは、6 歳・馬でフランス調教馬のシリウスデゼーグル【130】と対戦することになる。シリウスデゼーグルは先週末にロンシャン競馬場で行われたドラール賞(G2)で休養明けながら 9 馬身差の圧勝劇を演じ、その評判を高めた。

4 歳のフランス調教馬ソレミア【122】が 1993 年のアーバンシー以来となる古馬牝馬による凱旋門賞(G1)制覇を果たした。非常に厳しい馬場状態となったこの競走では、昨年の日本の三冠馬オルフェーヴル【127】との接戦を制している。

アメリカでは、ブリーダーズカップに向けて前哨戦が次々に行われているが、昨年のブリーダーズカップクラシック(G1)の2着馬**ゲームオンデュード【123】**は、サンタアニタ競馬場で行われ、レース名が同馬の父にちなんでつけられたオーサムアゲイン S(G1)(旧グッドウッド S)を楽勝し、今年も有力馬として名乗りを挙げた。

ワイズダン【124】や**ポイントオブエントリー【123】**は、それぞれブリーダーズカップマイル(G1)やブリーダーズカップターフ(G1)の前哨戦を快勝し、本番に向けて順調に調整を進めている。**ワイズダン**はキーンランド競馬場で行われたシャドウエルターフマイル(G1)に勝利し、ブリーダーズカップマイル(G1)の有力候補となった。また、**ポイントオブエントリー**は、ベルモントパーク競馬場で行われたジョーハーシュターフクラシック招待(G1)の勝利により自身の連勝記録を伸ばし、ブリーダーズカップターフ(G1)で米代表として主役を務めることとなった。